

【22_015/技術系メルマガ】『チャンスを待つ』事の本質的な解決方法 ~自身のトレードを振り返って~

〇〇さん

こんにちは！クロガキです。

早くも1月2週目が終了しましたが。。。

ここまで毎日のメルマガ配信が続いたのは、日々のメールをいつも追いかけてくれる皆さんのクリック、コメントメールに励まされているところが大きいです。

いつもありがとうございます！

┌ └─ 今週のトレード振り返り

普段からツイートをみてくださっている方は把握されているかと思いますが(笑)

僕は今週から本格的にトレードを再開しました。

<今週の結果>

1/10 GBPUSD(S)・・・(-6.1pips)

1/11 GBPAUD(L)・・・(+30.1pips)

1/12 GBPAUD(S)・・・建値

1/14 GBPUSD(S)・・・建値

1/14 EURAUD(L)・・・(+31.1pips)

2勝1敗2分、総獲得 +57.1pips

※メールの最後に、一つ『事例』を出すのでチェックしてみてくださいね

平均すると、1日1ポジションというところでしたので

特にオーバートレードでも、少なすぎることもなく

日々のルーティンワークの中で、ちょうどいい塩梅のトレードができたかなと思います。

□
└─┘ 『チャンスを待つ』とは、どんな状態なのか？
└──────────┘

さて、昨晚の謎放送をご視聴くださった人も、この中には多いかと思いますが。。

『チャンスを待つ』とは、単に「エントリーできる場所を探し出す」というだけでは
定義として十分とは言えません。

『チャンス』という定義自体が抽象的なので、これをもう少し具体化するのであれば

～～
リスクに見合った リワード(利益)が見込める場所で

『エントリー・利確・損切』位置とともに、エントリーするための条件を

まえもって明確に決められる場所
～～

と表現します。

これを踏まえたうえで

僕の中で『チャンスを待つ』というのは、いくつかの段階があると考えています。

理想的な状態として『チャンスの輪郭』がしっかり見えている状態 とも言い換えられるかと思いま
す。

<以下、下に行くほど『チャンスの輪郭』へ理解が進んでいる状態>

1. 自分のトレードの『型』が定まっておらず、チャンスの輪郭がボケている

2. 『型』ができているが、事前に 目線 を決められず、迷いがある

～～(稼げるかどうかの境界線)～～

3. 『目線の固定』と『型』の輪郭がしっかり描けており、それに沿ったトレードができてきているが、「迷って見過ごす」パターンが多い

4. 『目線』に沿った『型』が認識できたら、反射的にエントリーできる体勢ができている

<以上>

現時点で大別すると、僕の中ではこのような段階をイメージしています。

僕の現在地は、「3」と「4」を行き来しているようなイメージですね。

「4」の段階が定着するということは、もう『型』が完成された状態ともいえますが

ずっとワークする「手法」というものは存在しません(=相場の不確実性を受け容れる)。

ですから、日々の相場の小さな変化に対応すべく、僕らが研鑽をする限りは「3」に戻って検証・テストを延々繰り返すものだろうと思っています。

一言で『チャンスを待つ』とはどんな状態を指すのかは

その人の理解度・段階によって変わるところと考えていますので、今自分がどの辺にいるのかな？

と、この週末で考えてみても良いかもしれませんね。

クロの『型』は『根拠の連動』と『分解』である

僕のトレードの型は、如何に余分を削り落として

無駄な分析工程をなくすかを、時間かけて検証・テストした結果、今のスタイルに落ち着いているわけですが

今使っているテクニカルを目的別に一覧にすると

- ・トレンド(ダウ理論): 今、どちらに向かって 波 を形成しているか把握する
- ・水平線: トレードの方向性、空間把握のため
- ・SMA: 値動きの邪魔、トレンドの勢い、力のタメを視覚的に捉える
- ・チャートパターン: 値動きの切り返し、エントリーのトリガーを探す

こんな感じです。

特に重要なのは、以上4つのテクニカルを分析の材料としたうえで

サブタイトルに書いた『根拠の連動』と『分解』が重要になります。

その例として分かりやすいトレードが、1/14に実施したEURAUDのトレードです。

▼実際のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1481960717414973449?s=20>

▼下位時間足のセットアップ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/220115_chart.png

ツイートでは説明を省略していますが『目線』をロングで固定した後

徐々にリスクとリワードのバランスを改善するため

下位の時間足のパターンに落とし込んで、損切・エントリー位置を絞っていきます。

これは、また別の機会の題材にしたいとも思いますが

自分が採用するテクニカルで、『自分が何を知りたいのか(目的)』を明らかにして利用するのか？

そこをよく考えて使うツールを 決める ことも、ストレスなく『チャンスを待つ』うえで大事な考え方になります。

使うテクニカルに迷っている(きめられない)人、チャンスの輪郭 がまだぼんやりしている人は
今日の話を何度か読み返して頂ければ幸いです。

それでは、またメールします。

クロガキ(クロ)